

## ICT活用授業実践報告書

【 H24年度3年目研修 】

実施学年	小4年	実施教科 (科目)	社会	実施日	H24.9.20
単元名	くらしを守る				
本時の内容 (項目)	1 火事からくらしを守る 火事だ！火事だ！				
本時の目標	・火災からわたしたちを守るために働いている人がいることやその取り組みに関心をもつ。				
授業場所	小4年2組教室	ICT活用時の 授業形態	☑一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	☑導入・☑展開・まとめ・他( )		ICTの主な 活用者	☑教師・生徒	
活用するICT 機器	PC、電子黒板、大型テレビ				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	対象児童は、生活経験が乏しく、言葉だけの説明では、人々の安全なくらしを守る消防署や警察署の仕事のイメージはもちにくく考えられる。そこで、パソコン上で実際の火災の現場画像や映像を掲示することで、消防署や警察署の仕事内容のイメージももちやすく理解も高められると考える。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	・イラストやグラフから分かったこと、気付いたことを電子黒板に書き込む。				
利用するコン テンツ名・サ イト等	NHK for School 知っとく地図帳 <a href="http://nhk.or.jp/syakai/tizu/index_2012_001.html">http://nhk.or.jp/syakai/tizu/index_2012_001.html</a> 新しい社会3・4下				
参考にしたサ イト・文献 等	なし				
事前の準備	・社会科プリント				

指導計画（授業の展開）	<p>○導入○</p> <p>1.火災現場のイラストを見て気づくことを発表する。 *電子黒板にて、教科書と同一のイラストを拡大して掲示。</p> <p>○展開○</p> <p><b>火事が起きたとき、どのようにすればよいだろう。</b></p> <p>2.火事の原因について考える。 *電子黒板にて、教科書と同一のグラフ（火事の原因別の数）を拡大して掲示。</p> <p>3.火事の数の変化と理由について考える。 *電子黒板にて、教科書と同一のグラフ（市の人口の変化と火事の数の変化）を拡大して掲示。</p> <p>4.消防署の働きについて知る。 *119番通報を受けてから消火開始までの動きを映像として流す。</p> <p>○まとめ○</p> <p>5.火事が起きたときは、消防署等さまざまな働きによって暮らしが守られていることをまとめる。</p>	（※情報モラルの指導内容）
ICTを活用した授業時の教師側（指導上）の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が視覚的に見やすいように、電子黒板と大型テレビを活用する。</li> <li>・電子黒板の使用について、授業前に一度確認をする。</li> <li>・自分で考える時間を大切に、考えられない場合であっても過度に説明しすぎないように心掛けるようにする。</li> </ul>	
ICTを活用した授業時の児童生徒の反応	<p>教科書と同一のイラストやグラフを視覚的に分かりやすく電子黒板に提示することで、導入の段階から大変意欲的に取り組むことができた。また電子黒板に、分かったことや気付いたことを児童が直接書き込み発表し合う機会を設けたことで、他の友達とも情報を共有し合うことができた。</p> <p>また、イラストだけでなく、映像によって消防署で働く人達の様子を流したことで、児童たちの集中力がより持続され、活動への意欲を高めることができた。</p>	
ICTを活用した授業後の評価（実践の手応え）	<p>1時間の授業の導入や展開でICTを使い、画面を通して動きのある教材を示すことで興味を持続させることができた。また、座ったままの活動だけでなく、電子黒板に分かったことや気付いたことを直接書き込む活動を取り入れたことで、児童が主体的に授業に取り組むことができた。</p>	
今後の課題	<p>今回、ICTを活用した授業では、児童が活動に興味・関心をもち、大変意欲的に取り組むことができた。社会科だけでなく、他の教科でも活用できるソフトや機能等の拡充を図れるよう、情報収集や研修を通して、教師の専門性を高めていく必要があると感じた。今後も、児童が主体的に活動できるよう、ICTを活用した授業を積極的に取り入れていきたい。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。